京都新聞 歳末ふれあい募金



2026年
11月26日㊍から
12月28日㊊まで
受け付けます

地域福祉に役立てます

京都新聞社会福祉事業団は「ともに生きる」をテーマに福祉活動を通して、潤いのある豊かな社会の未来を考える場が広がることを願い、子どもや高齢者、障害のある人たちの支援、福祉施設や団体の助成・支援活動に力を入れています。皆様の温かい善意をお寄せくださいますようご協力をお願いします。

京都新聞社会福祉事業団への寄付金は、個人に対して所得税額の控除や、自治体によっては住民税額控除ができるほか、法人も含めて税優遇が受けられます。

お届け方法

○京都新聞社会福祉事業団にご持参いただく場合は、土・日を除く午前10時から午後5時にお願いします（旧京都新聞ビルは改修工事を行っており、京都新聞トラストビル4階に移転しております。地図をご参照ください）。
※当事業団では硬貨計算機での集計が可能です。

○郵送の場合は、現金書留でお願いします。

○ゆうちょ銀行、郵便局からの送金は、**01010−1−9888**
加入者名　公益財団法人京都新聞社会福祉事業団
※振り込みで硬貨取扱料金がかかる場合があります。

※金額とお名前は、京都新聞朝刊に掲載します（送金の場合5〜6日後）。匿名を希望される場合はお申し出ください。掲載後に確定申告に必要な証明書を送ります。必要でない方は通信欄に【送付不要】とご記入ください。

※京都新聞滋賀本社、最寄りの総・支局、京都新聞販売所へご持参いただいても結構です。

○ホームページ・モバイルサイトから電子決済での受け付けが可能です。

新事務所に移転しています。



協力先の金融機関からは手数料無料です

京都銀行、京都中央信用金庫、京都信用金庫のご協力でそれぞれの本・支店の窓口にて、当事業団の所定の振込用紙で送金いただきましたら振込手数料は無料です。

※ＡＴＭやインターネットバンキングは対象外となります。

口座名はいずれも（公財）京都新聞社会福祉事業団です。

※カタカナの場合は、（ザイ）キョウトシンブンシャカイフクシジギョウダン



各種、催しなどでご協力いただける団体には、募金箱（写真）の貸し出しを行っています。

京都銀行本店	［当座］	**139257**
京都中央信用金庫本店	［当座］	**36179**
京都信用金庫三条支店	［当座］	**12230**

※ＡＴＭやインターネットバンキングからのご寄付の場合は、お手数ですが下記までご連絡をお願いします。領収証等をお送りします。

公益財団法人
京都新聞社会福祉事業団

協力：京都新聞販売連合会

〒604-0857京都市中京区烏丸通二条上ル蒔絵屋町260
京都新聞トラストビル4階
TEL.075-241-6186　FAX.075-222-2515
https://fukushi.kyoto-np.co.jp/

受付時間／午前10時〜午後5時（土・日は休み）
【交通のご案内】地下鉄烏丸線「丸太町駅」6番出口から徒歩2分
※駐輪場・駐車場はございませんので、公共交通機関でご来社ください。

公益財団法人京都新聞社会福祉事業団の活動は皆さまに支えられています

障害のある人のための事業



障害のある人の就労支援や余暇活動、障害者スポーツなどを応援しています。今年2月には「就労支援を考えるシンポジウム」を行い、障害のある人を積極的に雇用する経営者や働く当事者が登壇し、一人一人の特性を尊重し安心できる職場の大切さを語り合いました。6月には障害のある人とともに余暇活動を計画する9団体に計50万円を助成しました。9月には障害のある人と釣り楽しむ「みんなで海釣り―障害のある人の体験講座」を開催し、宮津市の高校生やボランティアらと交流しました。障害者就労支援事業所などで生産された商品を展示販売する「京都新聞福祉事業所フェスティバル」やパラアーティスティックスイミングフェスティバル、ボッチャ大会などの障害者スポーツにも力を入れています。

高齢者のための事業



京都、滋賀の特別養護老人ホームに、背もたれと座面角度が調節できる機能やひじ置きや脚部が動かせる「介助用車いす」を7施設（各1台）に贈呈しました。介助用車いすの贈呈は毎年行っており、座り心地のよさに利用者から好評を得ています。昨年12月には「ホームヘルプサービスの備品助成」を公募し、訪問介護事業所19団体に、計137万7503円を助成しました。ベッドでの体位変換や移乗介助の際に、お年寄りや介護者の負担を軽減する移乗シートや非接触型体温計、血圧計、感染症対策のための手袋など訪問介護に関する備品の購入に充てられました。高齢者施設での集いにクラシック鑑賞で楽しいひとときを過ごしてもらう「おでかけ公演」事業では演奏家を派遣しています。

奨学金支給や子育て応援事業



「京都新聞愛の奨学金」（返済不要）に、公募の一般の部と交通遺児の部、公立高校定時制・通信制の部を合わせて436人の高校生、大学生、専門学校生からの申請があり、選考で決定した奨学生191人に奨学金（高校生・年額9万円、大学、専門学校生・同18万円）を、京滋の児童養護施設の高校生140人に一律3万円の奨学激励金を、計331人に総額2994万円を支給しました。子育て中のお父さんお母さんのグループや支援ボランティア78団体に一律2万円の応援金を、親子で体験するパン教室や大型絵本の読み聞かせなどの親子で集う催し14件に、計83万8000円を助成しました。京滋の児童養護施設を巣立つ生徒に「卒業お祝い金」を、小中高を卒業する交通遺児にお祝いの図書カードを贈っています。

福祉施設・団体を支援



今年1月には、地域福祉の向上のために著しい功績のあった個人・団体をたたえる「京都新聞福祉賞」、今後の活躍が期待できる個人・団体を応援する「京都新聞福祉奨励賞」の表彰を行いました。3月には福祉の向上のために活動する団体や施設などに助成する「福祉活動支援」事業を行い、高齢者の支援団体や当事者団体を対象に100万円を3団体に助成する特別枠と上限30万円までを助成する運営、設備両部門で申請を受け付け、特別枠3団体に計300万円、運営13団体に計182万円、設備12団体に計218万円、計28団体に総額700万円を助成しました。ボランティアサークルの活動費や子ども食堂を行う団体の活動備品や設備の新設、障害者就労支援施設の設備品購入などに支援しました。

この他にも多彩な福祉事業を開催、支援しています。詳しくはホームページ・モバイルサイトをご覧ください。

公益財団法人
京都新聞社会福祉事業団